

**1. 基本情報**

- (1) 国名：ザンビア共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ルサカ州ルサカ郡
- (3) 案件名：ルサカ郡病院整備計画フェーズ 2  
(The Project for Upgrading Lusaka Health Centres to District Hospitals Phase 2)
- (4) 事業の要約：ルサカ郡において、ヘルスセンター 3 箇所（チパタ、カニヤマ及びチャワマ）の施設・機材を強化することにより、ルサカ市民の保健サービスへのアクセスの改善及びルサカ市民への基本的な保健サービスの向上を図り、もって同地域の持続的な経済成長を支える社会基盤の整備に寄与するもの。

**2. 事業の背景と必要性**

- (1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ザンビアにおける保健セクターの状況は、乳児死亡率 55.8 人（出生 1,000 人対、2013 年）、5 歳未満児死亡率 87.4 人（出生 1,000 人対、2013 年）、妊産婦死亡率 280 人（出生 10 万人対、2013 年）、HIV 感染率 12.5%（15～49 歳人口、2013 年）等、ミレニアム開発目標の主要指標において全世界平均を上回っており、一層の改善が必要となっている。

ザンビアの改訂版第 6 次国家開発計画 2013-2016（R-SNDP）において、保健は重要なセクターの一つに位置付けられており、「2030 年までに全ての人々が公正に質の高い保健サービスにアクセスできること」を目標として掲げている。また、地方部を中心に地域医療の基幹を担うこととなるヘルスセンターの改修は同セクターの取組における主要な改革の一つとされている。

ルサカ郡においては、基本的な保健サービスを提供するヘルスセンターは存在するが、手術等を行える第一次レベルの病院が絶対的に不足している。高度な医療サービスを担う国内トップの中核病院が 1 箇所（ザンビア大学附属教育病院（以下「UTH」という。））あるものの、ヘルスセンターと UTH の中間に位置付けられる病院が殆どないため、基本的な手術等の医療サービスに対する需要に対応することが困難な状況にある。そのため、UTH はトップレファレルを担う第三次レベル病院であると同時に、ルサカ市域における第一次レベル病院（内科、外科、産婦人科、小児科があり、帝王切開、基礎手術、基礎的検査が可能な施設）の役割を果たしており、慢性的で深刻な混雑状態が続いている。

このような状況に対応するため、ザンビア保健省はルサカ郡における 5 つの区域でヘルスセンターを 1 箇所ずつ指定し、都市部で必要とされる第一次レベルの医療サービスが提供できるよう施設の強化・機能の拡充を行うことを計画した（2008 年）。JICA は本事業の前フェーズとなる無償資金協力「ルサカ郡病院整備計画」において、マテロ及びチレンジェの 2 箇所のヘルスセンターの整備を図っており、本事業は残り 3 箇所のヘルスセンターの整備を行

うもの。

(2) 保健セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

本事業は我が国の対ザンビア共和国国別援助方針における重点分野「持続的な経済成長を支える社会基盤の整備」に位置付けられる。JICA の保健セクターにおける協力方針では、優先課題である母子保健・感染症対策に係る持続的なサービス提供を行うための保健システムの強化に係る支援を重視しており、JICA の対ザンビア共和国国別分析ペーパーにおいても、保健サービスの質を向上させるための方針の一つとして、第一次レベルの保健施設の整備を実施していくことを挙げており、本案件はこれらの方針・分析と合致している。

(3) 他の援助機関の対応

ユニセフが本事業の支援対象となるヘルスセンターの 2 箇所（チパタ及びカニャマ）において産科棟の建設を計画している。

(4) 本事業を実施する意義

本事業はザンビアの国家開発計画及び我が国の国別援助方針に整合しており、人口が集中する首都ルサカにおいて手術等が行える第一次レベル病院は限られており、施設整備を行う緊急性は高いことから、無償資金協力にて本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

|         |
|---------|
| 3. 事業概要 |
|---------|

(1) 事業概要

① 事業の目的

ルサカ郡において、ヘルスセンター3 箇所（チパタ、カニャマ及びチャワマ）の施設・機材を強化することにより、ルサカ市民の保健サービスへのアクセスの改善及びルサカ市民への基本的な保健サービスの向上を図り、もって同地域の持続的な経済成長を支える社会基盤の整備に寄与するもの。

② 事業内容

1) 土木工事、調達機器等の内容

対象ヘルスセンターの施設改修・増設（外来棟、成人病棟など）、医療機材調達

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

機材操作・維持管理のための研修が想定されるが、協力準備調査により確認する。

③ 他の JICA 事業との関係

「ルサカ郡病院整備計画」を実施中（2015 年 11 月完成予定）。また「保健投資支援プロジェクト」「ユニバーサルヘルスカバレッジ達成のための基礎的保健サービスマネジメント強化プロジェクト」等の技術協力プロジェクトを通じて、施設及び医療器材の維持管理、基礎的保健サービスのモニタリング評価等に係る能力強化を図っており、本事業で整備するヘルスセンターにも適用予定。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：保健省計画局（Ministry of Health, Directorate of Policy Planning）

- ② 他機関との連携・役割分担：ユニセフが本事業の対象ヘルスセンター2箇所（チパタ及びカニヤマ）において、産科棟の建設を計画しているため、本事業での支援は別の部門を対象として重複を避ける。
- ③ 運営／維持管理体制：ルサカ郡保健局（コミュニティ開発母子保健省管轄）はルサカ郡の保健医療建設計画の実質的な計画策定を行っている。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 □A □B ■C □FI

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010年4月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項：特になし

(5) ジェンダー分類：協力準備調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。

(6) その他特記事項：特になし

|                       |
|-----------------------|
| 4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用 |
|-----------------------|

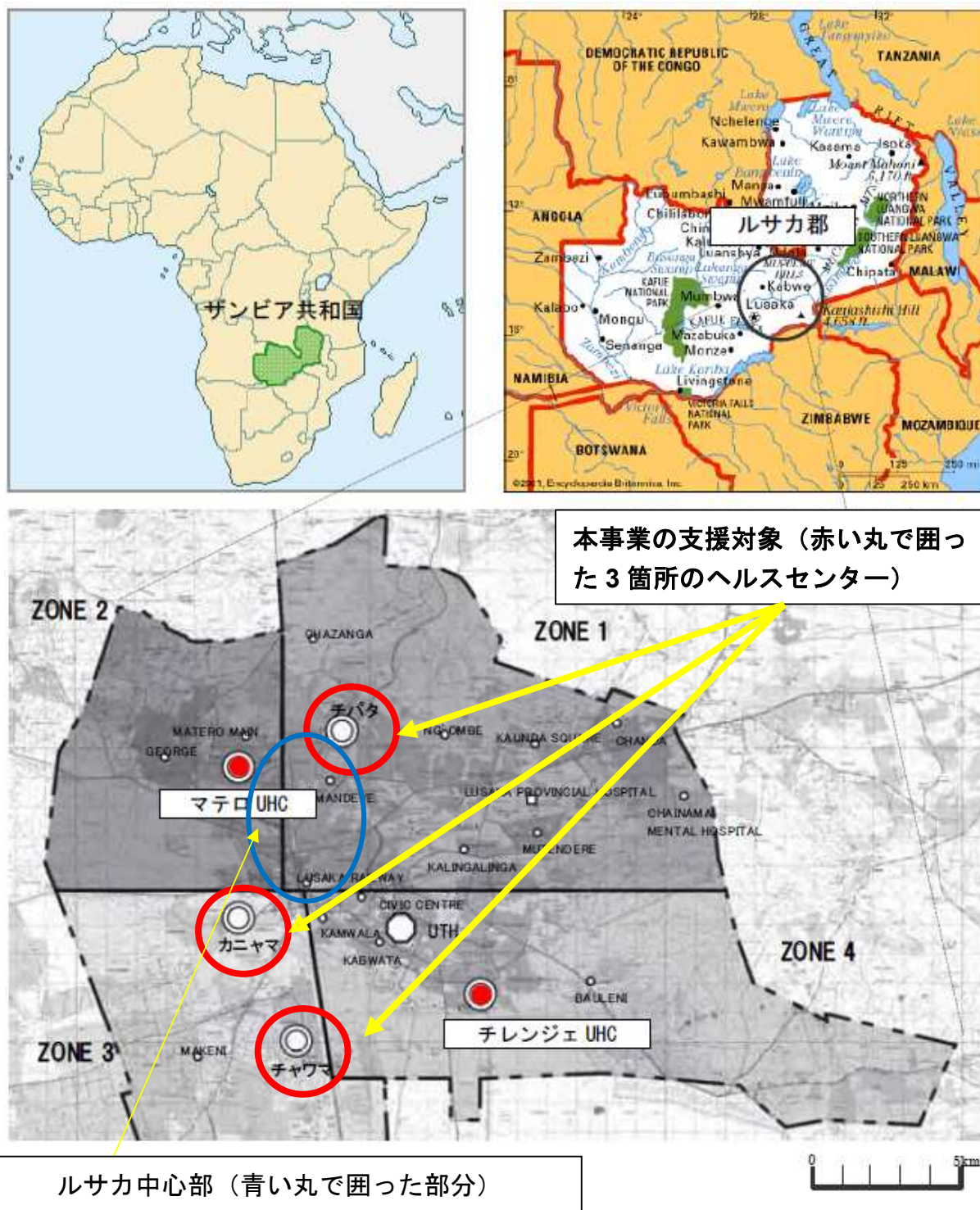
ケニアの無償資金協力「西部地域県病院整備計画」（2011年）の事後評価等においては、施設・機材が整備されることにより、近隣地域からの受診を希望する患者が大幅に増えることから、人員増加がない場合、結果的に一人当たりの業務量が増え、医療サービスの質にも影響を与える恐れがある点を指摘している。

本事業においても、医療施設・機材の拡充に伴い同様の課題が生じ得ることを想定し、施設建設を行う前の段階から、施設増強に伴い必要とされる医療従事者が確保・配置されるよう、保健省及び必要に応じて財務省と十分に協議を行うこととする。

以 上

[別添資料] 地図

【地図】ルサカ郡病院整備計画フェーズ2



※マテロ及びチレンジェは「ルサカ郡病院整備計画」にて施設・機材を強化中。